

2023年5月9日

デジタル×リアルによる「在宅ケア支援サービス」の提供を開始 ～シニアの“Well-being”実現を目指して～

SOMPOケア株式会社（東京都品川区／代表取締役社長：鷺見 隆充、以下「当社」）は2023年4月、「在宅ケア支援サービス」の提供を開始しましたので、お知らせします。

本サービスは、シニアの住み慣れた地域における自分らしい暮らしの実現に貢献することを目的としており、複数地域での実証実験を経て、このたび本格的に提供開始するものです。デジタルとリアルを融合した本サービスを通じて、在宅介護を支え、企業等における介護離職防止に貢献するとともに、社会のデジタル化のトレンドの中で、シニアの“Well-being”^{※1}実現を目指します。



Carers' school

ケアラーズスクール

1. 「在宅ケア支援サービス」とは

主なサービスはケアエールアプリとケアラーズスクールの2種類です。当社では、ケアラー^{※2}を支援する新しい在宅介護モデルについて、2021年4月からスマートシティの先進地である福島県会津若松市など複数の地域で研究・実証を進めてきました。その実証を通じて、デジタルサービスであるケアエールと、リアルな集いの場であるケアラーズスクールの両面からアプローチすることが、シニアの“Well-being”実現に寄与すると確認できました。本サービスの導入により、地域包括ケアシステムの一部となるモデルを構築し、シニアの住み慣れた地域における自分らしい暮らしの実現に貢献していきます。

（1）ケアエールアプリ

ケアが必要な要介護者の体調、日常の様子や気持ちをご自身、ご家族やケアマネジャーなどケアに関わる方々と、写真や動画を添えて無理なく共有することができる無料のコミュニケーションツールです。自然と周りの人が関わりやすくなり、お互いにエールを送り合うことで心の余裕が生まれ、絆を深めながら穏やかな生活を支えていきます。アプリで共有した内容は、ケアにも役立てていくことができます。

（2）ケアラーズスクール

家族の介護について、先の見えない不安や身体的・精神的・経済的な負担などを周囲に相談できずに抱え込んでしまったり、自分のことより介護を優先してしまったり、多くの悩みを抱えるケアラーに向けて、介護の知識や情報、新しい気づきを得てもらうための交流の場です。介護について不安だったことが「学び」や「他者との対話（ピアカウンセリング）」により解消し、ケアラーの介護に対する捉え方の変化を促していきます。

2. これまで実施してきた「在宅ケア支援サービス」の実証内容と成果

これまでに、会津若松市をはじめ複数地域の住民、自治体、企業・団体と連携して実証を行いました。

2021年4月から展開しているケアラーズスクールは、9つの地域で開催し、約630名にご参加いただきました。スクール参加者の満足度は約98%と高く、他者への推奨意向も高い結果が出ています。

また、2022年4月にリリースしたケアエールアプリは、順調に利用者数を増やしています。ユーザーからは「離れている家族とも協力して関わっているように感じられる」や「家では見られないデイサービスでの元気な様子に安心した」といった声をいただいております、高い評価を得ています。

これら実証の成果を踏まえ、全国で400万人以上^{※3}と推測される在宅で介護をするケアラーの負担軽減や介護離職防止のため、そしてシニアが住み慣れた地域において自分らしい暮らしを実現する取組みとして、このたび「在宅ケア支援サービス」を本格的に提供開始することとしました。

3. 介護事業者向け「ケアエールPRO」の提供

「在宅ケア支援サービス」の提供開始にあたり、これまでにケアエールアプリをご利用いただいた介護事業所から寄せられた、さまざまなニーズを基に便利機能を追加搭載した、介護事業者向けWebサービス「ケアエールPRO」を、有償サービスとして提供します（2023年5月提供開始）。

ケアエールPROは、ご利用者一人ひとりのリアルな今を家族や関係者と共有しながら、チームケアを円滑にし、蓄積されたデータをサービス記録として活用できるサービスです。ケアエールPROの利用により、介護記録の蓄積に留まらず、ご利用者・そのご家族・専門職の3者間で無理なくコミュニケーションが可能となり、ケア品質の向上にも繋がります。

・「ケアエールPRO」公式ページ：<https://careyell.com/pro>



※画像は開発中のものです

4. ケアラーズスクールの販売とコンサルティング業務

近年、ケアラー支援条例の制定都市の拡大など、ケアラーを社会全体で支える動きが加速しており、ケアラー支援を必要とする自治体や企業も増えていることを踏まえ、2023年4月から有償による市民向けケアラーズスクールならびに職員向け研修等のコンサルティング業務を開始します。国内外のビジネスケアラー（仕事をしながら家族等の介護に従事する人）の数は増加傾向にあり、本スクールに参加いただくことで、ケアラーの負担軽減、介護の効率化が見込まれ、ケアラーの仕事と介護の両立支援にも繋がることが期待されます。

・「ケアラーズスクール」公式ページ：<https://www.carers-school.com/>

5. 今後の展望

会津若松市ではデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、災害時にケアエールアプリで安否確認を行う機能を2022年度に実装しました。当社は、今後もデジタル化など生活環境が変化する中で、「在宅ケア支援サービス」によって地域のシニアを当社が支え、地域に「なくてはならない」ポジションを確立していきます。

●会津若松市 室井照平市長のコメント

ケアラーズスクールは2021年4月から、ケアエールアプリは2022年1月から、それぞれ会津若松市にて実証をスタートさせたものが全国展開につながっており、嬉しい限りです。「在宅ケア支援サービス」は市民の暮らしに寄り添ったデジタル×リアルを掛け合わせたサービスであり、今後も市民の皆さまが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを実現することに貢献してくれるものと期待しております。

また、ケアエールアプリは、本市のデジタル田園都市国家構想推進交付金事業において、防災サービスとの連携機能が実装されており、市民の皆さまの暮らしを支える存在となっております。短期間でシステムの実装を進めていただいたことにも感謝いたします。

本発表のサービス以外にも、引き続き、市民の皆さまに利便性を実感していただける会津若松市発のサービスが全国に広がっていくよう『スマートシティ会津若松』を進めてまいります。

※1 “Well-being”とは、身体的・精神的・社会的にも満たされた状態（WHO定義）を指します。

※2 ケアラーとは、介護や看病、療育が必要な家族や近親者を無償でサポートする方を指します。

※3 居宅（介護予防）サービス受給者数は、3,975,193人（厚生労働省「介護保険事業状況報告（暫定）」（2020年11月償還給付決定分）より）であり、サービス受給者一人あたり一人以上のケアラーが存在すると仮定した推定です。

【参考】ケアエールPROの主な特徴

01 コミュニケーションが深まる電子連絡ノート

同居・別居の家族や関係者とリアルタイムで利用者の様子を共有しあうことで、関係者同士が互いに知れなかった利用者のことも理解できるようになり、タイムリーに利用者へのケアへ反映でき、家族との信頼も深めます。



02 利用者への理解が深まる暮らしの記録

利用者に関わりながらその日の体調や様子を写真や動画も活用して共有することで、利用者の日々の暮らしがデータとしてたまり、実施記録やモニタリングとしても活用いただけます。



03 より安心できる空間でチームケアを実現

利用者ごとに関係者の招待ができ、担当変更になった場合は退出することもできるので、利用者ごとに関わってほしい方々だけとの空間ができます。途中から参加された方もそれまでの共有内容が確認いただけます。3省2ガイドラインにも準拠し、セキュリティ面も強化しておりますので、より安心して利用いただけます。



以上